

# 令和6年度

# 予算

～当初予算として過去最大規模～

小郡市では、将来像を『人がつながり市民が躍動する温かみのある都市(まち) おごおり～「共感・共働・共創」による共生社会を目指して～』と掲げ、持続可能なまちづくりの推進に向けて、多様な主体が役割を分かち合い・支え合いながら暮らしていくことができる地域共生社会の実現をめざしています。

問 財政課財政係 ☎72-2111

令和6年度の施政方針は、市ホームページで閲覧できます。

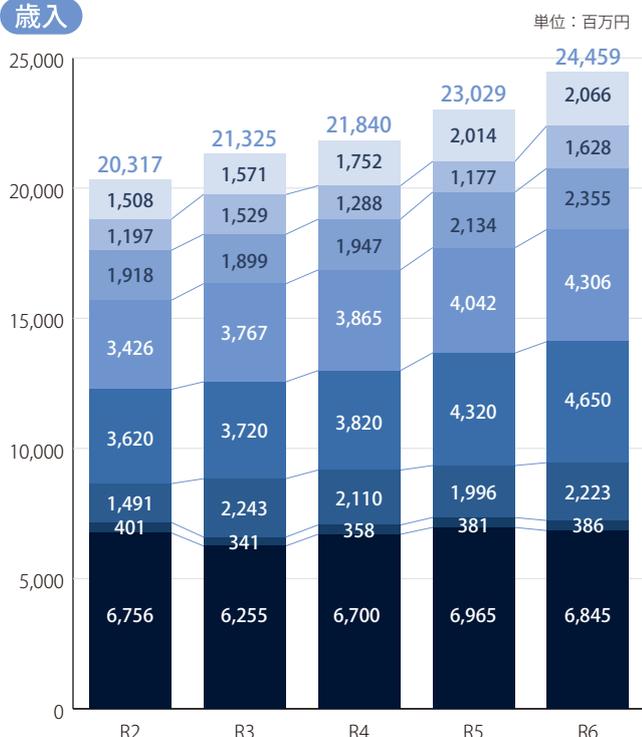


## 予算の概要

- 一般会計予算額は、244億5,900万円で、前年度の予算額230億2,900万円より、6.2%の増です。また、令和6年度末の市債残高は169億1,250万8千円、基金残高は53億5,120万円となる見込みです。
- 特別会計予算額は、113億1,947万1千円で、前年度の予算額113億72万2千円より、0.2%の増です。公営企業会計予算額は、39億4,917万1千円で、前年度の予算額34億7,235万6千円より、13.7%の増です。

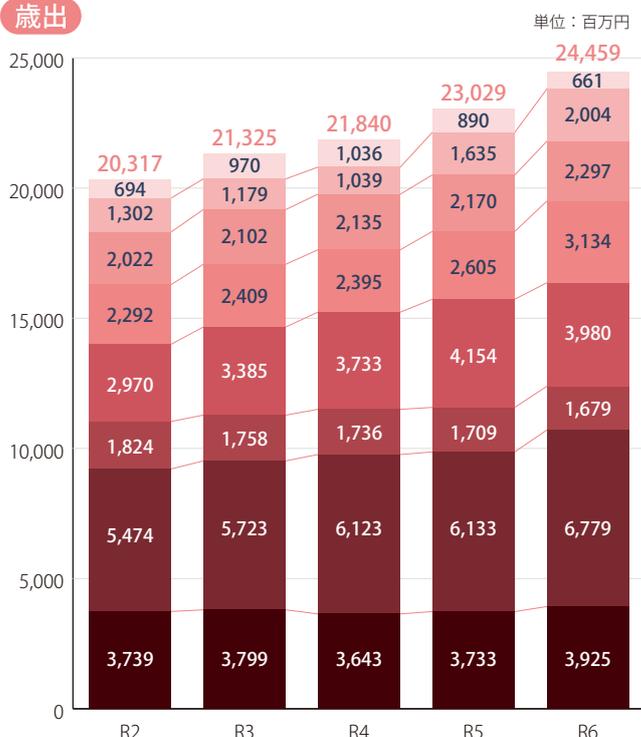
## 一般会計予算の推移(内訳)

### 歳入



■ 市税  
■ 使用料・手数料  
■ その他(自主財源)  
■ 地方交付税  
■ 国庫支出金  
■ 県支出金  
■ 市債  
■ その他(依存財源)

### 歳出



■ 人件費  
■ 扶助費  
■ 公債費  
■ 物件費  
■ 補助費等  
■ 繰出金  
■ 普通建設事業費  
■ その他



## 施政方針・主な施策

地方を取り巻く状況を見ると、少子高齢化や人口減少、社会保障で膨らむ負担などが課題となっています。人材・財源に限られる中、ビルド&スクラップにより、多様な市民ニーズへの対応や自然災害への備え、老朽化している公共施設の更新など必要な事業を実施していきます。令和6年度は、住居・雇用・にぎわいがあり、子育てにふさわしいコンパクト拠点都市として、持続可能なまちに進化する、明るい将来のまちづくりを実現するための施策を実施します。

### 治水・災害対策

内水氾濫の治水対策と浸水被害の減災対策のため、流域治水の考えに基づいて事業を展開します。

#### ★雨水貯留施設工事・実施設計 1億4,200万円

令和5年度に実施した設計に基づき、七タグラウンドと小郡中学校に大雨時、水を溜めておくオンサイト貯留施設を設置します。さらに、小郡小学校と大原中学校のグラウンドにもオンサイト貯留施設を設置するための実施設計に着手します。

### カーボンニュートラルの推進

令和5年10月、脱炭素に取り組むため、ゼロカーボンシティ宣言をしました。2050年カーボンニュートラルに向けた地球温暖化対策を推進します。

#### ★公共施設のLED化 2,699万2千円

温室効果ガスと消費電力量を減らすために令和5年度に引き続き、公共施設の照明をLED化します。

#### ★公用車のEV(電気自動車)導入 810万円

買い替え時期が到来した公用車を、EVの導入で更新します。令和6年度は3台のEVを導入予定です。

### 官民連携とDXの推進

簡単に行政サービスを受けられる利便性の良い市役所をめざします。また、業務を効率化し、多様化する課題への対応などに職員が注力できる環境を構築します。

#### ★公共施設予約オンライン化事業 1,622万8千円

公共施設の予約をオンライン化し、施設に足を運ばなくてもパソコンやスマートフォンから予約できるようにします。使用料のオンライン決済を併せて導入することで、利用者の利便性の向上と予約管理業務の効率化を図ります。



### 子どもと家庭の支援強化

子どもや保護者の悩みなどをより身近に相談できるように、子どもに関する総合窓口を一元化します。また、子ども関係部署をあすてらすに集約し、あすてらすを「こどもまんなか政策推進拠点」とします。

#### ★私立保育園等施設整備事業 2億447万1千円

待機児童解消や安全な保育環境を整えるため、私立保育園の増改築などに必要な費用を補助します。

### 物価高騰対策

物価高騰の影響を受けている、事業者や市民生活を守るための支援を行います。

#### ★プレミアム付き商品券発行事業 6,900万円

「將軍藤小判」「將軍藤ペイ」を3億円分(プレミアム率30%)発行します。

#### ★給食支援事業 5,574千円

学校や保育所等の給食における食材費の高騰等に対応し、給食費の支援を行うことで子育て世帯の負担を抑えます。

### 公共施設の更新

総合的かつ計画的に公共施設の維持管理を行います。

#### ★新体育館建設事業 6,736万円

新体育館の敷地全体の基本設計業務や地質調査業務などに取り組み、完成した基本設計をもとに市民、スポーツ団体関係者などと意見交換を行います。

#### ★学校給食センター整備運営事業 522万8千円

整備運営事業(PFI事業)の事業者決定を行い、安心・安全面で大きく改善した学校給食を提供できる施設の整備に向けて取り組みます。

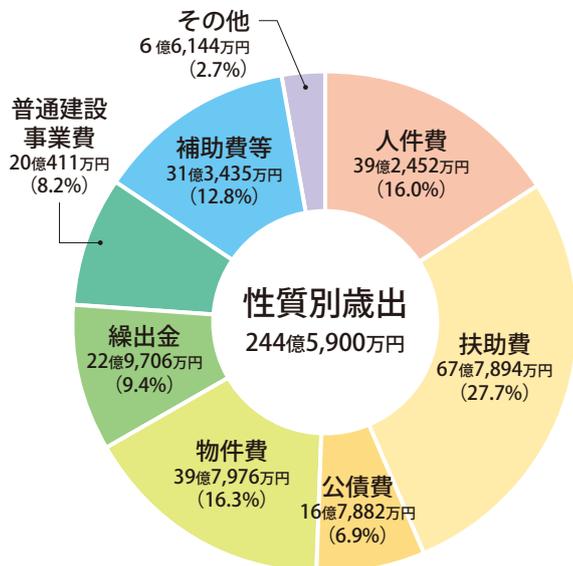
#### ★三井消防署新庁舎建設事業 919万2千円

令和6年度は第1期工事として訓練棟の建設に着手します。火災・救急のみならず、大規模災害時の緊急消防援助隊拠点施設や消防団・自主防災組織などの訓練・研修施設、資機材の備蓄倉庫などの機能がある庁舎を整備します。



性質別歳出

義務的経費（支出が義務付けられ任意に削減できない「人件費」「扶助費」「公債費」の合計）が、50.6%と全体の約半分を占めています。

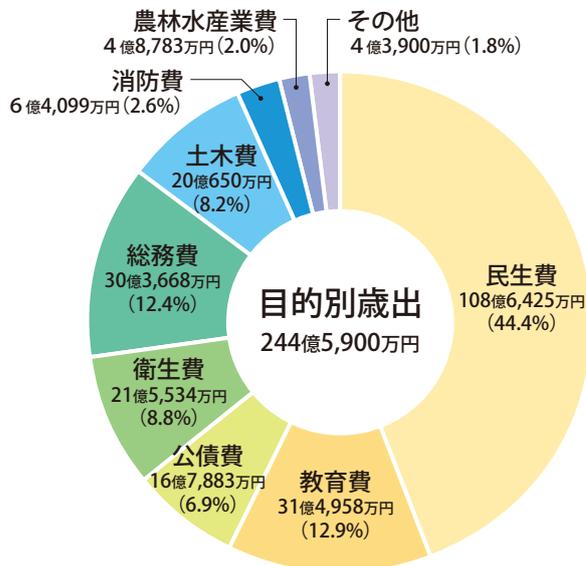


用語の解説

- ◆ **人件費** 職員や特別職の給与、議員や各種委員会委員の報酬に使うお金
- ◆ **扶助費** 生活保護費、児童手当、医療費などに使うお金
- ◆ **物件費** 委託料、光熱水費、備品購入費などに使うお金
- ◆ **繰出金** 各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金
- ◆ **普通建設事業費** 道路・橋梁などの整備や公共施設の新設・増改築など、事業費に使うお金
- ◆ **補助費等** 団体への補助金や負担金に使うお金

目的別歳出

社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が44.4%と最も高い割合を占めています。



用語の解説

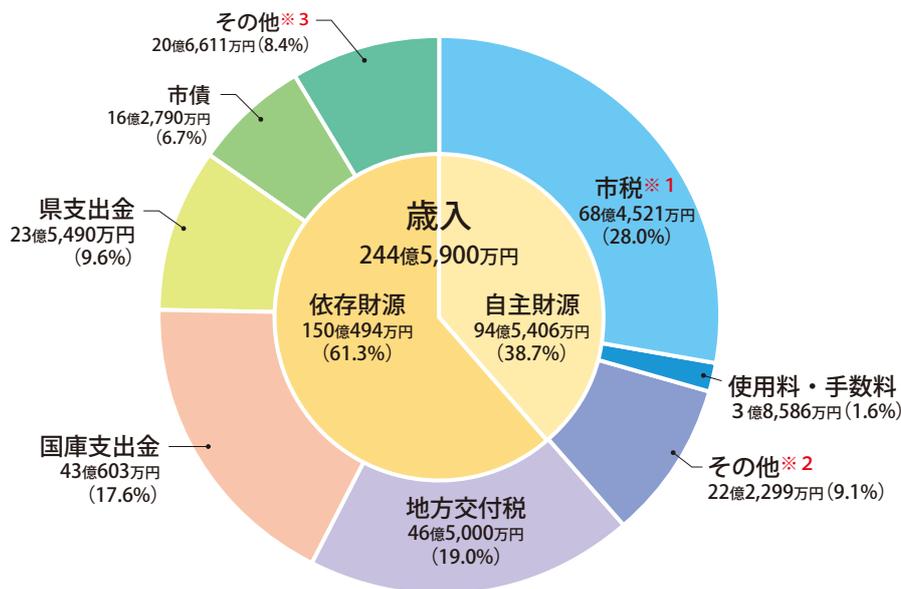
- ◆ **民生費** 福祉全般の事務・事業に使うお金
- ◆ **教育費** 小・中学校の運営費用、図書館など教育全般の事務・事業に使うお金
- ◆ **公債費** 借り入れたお金を返済するためのお金
- ◆ **衛生費** 感染症予防や成人保健、母子保健、環境保全、ごみ処理などに使うお金
- ◆ **総務費** 課税徴収、選挙など市の総括的な事務に使うお金
- ◆ **土木費** 都市基盤整備や道路・公園・河川などの維持管理・改良などに使うお金

支出	金額 (万円)	前年比
食費 (人件費)	98万円	(+ 5万円)
医療費・養育費 (扶助費)	169万円	(+16万円)
ローン返済 (公債費)	42万円	(▲ 1万円)
家の増改築など (投資的経費)	50万円	(+ 9万円)
家や車の補修 (維持補修費)	3万円	(± 0万円)
子どもへの仕送り (繰出金)	78万円	(+ 7万円)
保険料など (補助費等のうち一部事務組合負担金)	27万円	(+ 3万円)
光熱水費・通信費・雑費など (物件費)	99万円	(▲ 5万円)
区費やサークル・会合への会費など (補助費等)	31万円	(+ 3万円)
貯金 (積立金)	13万円	(▲ 2万円)
その他支出 (投資及び出資金、予備費)	1万円	(± 0万円)
<b>合計</b>	<b>611万円</b>	<b>(+35万円)</b>

**令和6年度  
一般会計予算を  
家計簿に例えてみると...**

令和6年度一般会計予算を家計簿に置き換えました。市の予算額は規模が大きいのので、より分かりやすくするために、規模を4千分の1に縮小しています。

歳入の根幹となる市税は、税制改正による市民税の減税などを鑑みて、前年度(69億6,507万円)から1.7%減、地方交付税は、国の見込みに伴い前年度(43億2,000万円)から7.6%の増です。



※1 <自主財源：市税の内訳>

市民税	32億2,553万円
個人	28億9,815万円
法人	3億2,738万円
固定資産税	30億1,157万円
軽自動車税	1億8,803万円
市たばこ税	4億2,008万円

※2 <自主財源：その他の内訳>

分担金・負担金	1億8,055万円
財産収入	3,003万円
寄附金	5億428万円
繰入金	13億1,560万円
諸収入	1億9,253万円

※3 <依存財源：その他の内訳>

地方譲与税	2億2,621万円
利子割交付金	190万円
配当割交付金	3,100万円
株式等譲渡所得割交付金	5,700万円
法人事業税交付金	1億円
地方消費税交付金	13億3,000万円
ゴルフ場利用税交付金	1,800万円
環境性能割交付金	5,300万円
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	800万円
地方特例交付金	2億3,100万円
交通安全対策特別交付金	1,000万円

用語の解説

- ◆ 市税 皆さんから市に納めていただいた税金(市民税・固定資産税など)
- ◆ 使用料・手数料 あすてらすや運動公園などの使用料や住民票発行などの手数料
- ◆ 地方交付税 国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- ◆ 市債 事業を行うために市が借り入れるお金
- ◆ 自主財源 市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金
- ◆ 依存財源 国・県などの制度により交付されるお金
- ◆ 特別会計 特定の収入を特定の支出にあて、一般会計と経理を別にして運営する会計
- ◆ 公営企業会計 民間企業と同様の会計基準に基づき、発生主義、複式簿記を採用して運営する会計

令和6年度当初予算に関する詳しい資料は、市ホームページや各コミュニティセンター、図書館で閲覧できます。



支出では、障害福祉サービスや障害児施設給付が増える見込みのため、医療費・養育費(扶助費)が増加となりました。また、教育施設等の整備により家の増改築など(投資的経費)も増えていきます。収入では、医療費・養育費や家の増改築をするための財源として、実家からの援助(国・県補助金)や銀行からの借入(市債)が増加となりました。



収入	金額	前年比
給料(市税)	171万円	(▲3万円)
給料(諸手当) (地方交付税や地方譲与税など各種交付金)	167万円	(+8万円)
実家からの援助(国・県補助金)	166万円	(+12万円)
パート・家賃収入 (分担金・負担金・手数料・使用料)	14万円	(±0万円)
貯金の取崩(繰入金)	33万円	(+9万円)
銀行からの借入(市債)	41万円	(+12万円)
雑収入(財産収入・諸収入・寄附金)	19万円	(▲3万円)
合計	611万円	(+35万円)